

## 式 辞

<sup>きた</sup>  
燕来る。

あらゆるものが<sup>すがすが</sup>清々しく、明るく美しい「清明」と呼ばれる季節が来ました。

街中でも時折、燕の姿を見かけるようになりました。燕はこの時期、南の国から飛んで来て、冬はまた南へ帰っていくので、その訪れは本格的な春の始まりを教えてください。



この清々しい春の到来を感じさせる今日の良き日に、振興会長 <sup>かわかみ</sup> 川上 <sup>じゅん</sup> 殉 様、まつら同窓会長 <sup>なかしま</sup> 中島 <sup>ゆきとし</sup> 幸利 様 をはじめ、両会役員の皆様のご列席をいただき、ここに令和4年度佐賀県立唐津西高等学校、第67回入学式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

さて、新1年生144名の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校では、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんも今日のこの日を少しの不安と大きな期待で胸を膨らませながら待っていたことでしょう。

本校は「<sup>あした</sup>朝に希望 夕べに感謝」の建学の精神のもと、115年の歴史をもつ伝統校です。

こうした本校には、極めて優秀で教育愛にあふれる先生方や高い志をもって仲間とともに文武に励む先輩たちがたくさんいて、学習や部活動、ボランティア活動など、自分が望む分野に精一杯打ち込むことができる最高の環境を整えています。

これから皆さんは、縁あってともに集った同級生たちと切磋琢磨し、先生方や先輩たちからの薫陶を受けながら、新しい学校生活を送ることになります。

この新しいステージでは、今までで学んできたこと以上に、いろいろなことを学び、新しい考え方を作っていただろうと思います。



そのはなむけに、私から「正解を探す」という意識から「問題を探す」という意識へ自らを転換させることが必要だということを伝えたいと思います。

このことを「ジクソーパズル」と「レゴブロック」にたとえてお話ししましょう。

「ジクソーパズル」は決められた枠の中に、できるだけスピーディにピースをはめ込んで完成させるゲームです。

このパズルゲームのように、これまでの社会は、自分が持っているピースとしての知識を素早く適切に使って、定められた「正解」というゴールに到達することが求められていました。

ピースすなわち「知識」が多ければ多いほど、大きくて複雑な絵ができます。したがって知識を蓄えること自体に価値がありました。それがこれまで求められてきた力だと言えます。

しかし、これからは、そういう時代ではありません。

新型コロナ感染症、SDGs、世界の各地で勃発する戦争や紛争など教科書に載っていない状況に直面し、計画どおりいかなかったり、そもそも何が正解なのか分からなかったりする時代です。

そうした状況下では、「正解を求める」のではなく、「今、何が問題なのか」、「なぜそれが問題なのか」、自分の目でよく観察し、自分の頭で正しく考え、多様な他者と協働しながら「最適解」を作り上げていくことが大事になってきます。

すなわち、自分の力で「問い」を見出し、様々な形のレゴブロック（知識・考え）を組み合わせて、新しい価値観（最適解）を作り出していくことが求められているのです。

それが『正解を探す』のではなく『問題を探す』ということの意味です。

では「問題を探す」時にその指針となってくれるものは何か。それは「志」です。江戸時代末期の儒学者である佐藤一斎はその著書『言志録』の中で、「志」について次のように記しています。

「志を立て、これを求めれば、たとえ薪を運び、水を運んでも、そこに『道』はあって、真理を自得することはできるものだ。まして、書物を読み、物事の道理を窮めようと専心するからには、目的を達せないはずはない。

しかし、志が立っていなければ、一日中本を読んでも、それは無駄ごとにすぎない。学問をして聖者になろうとするには、志を立てるより大切なことはない」

ここには「志」のもつことの重要性が端的に語られています。

「志」がなければどんなに恵まれた環境にあらうとも何事もなしうることはできません。逆に「志」があればどんな局面におかれても人は成長できるのです。

どうか皆さん、自分なりの「志」を立てて、それを揺るぎない軸足としてこれからの学校生活を送ってください。この三年間でみなさんは間違いなく大きく成長します。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで、手塩にかけて育ててこられた、大切なお子様を3年間本校でお預かりいたします。

私たち職員は総力を挙げ、お子様方一人一人にしっかりと寄り添い、責任をもって、教育に当たることをお約束いたします。

先ほども申し上げましたように、本校は優れた指導力を持った職員を揃えております。私たちは「全ての子どもたちを、全ての職員で見る」ということをモットーにしております。困ったことがあれば、どの職員でも構いませんので、遠慮なくご相談ください。

また、本校は、「地域とともにある学校」、いわゆる「コミュニティスクール」です。地域課題に自ら取り組んでいけるような資質・能力を鍛えてまいります。

今年度、新学習指導要領の本格実施に当たり、各教科等の学習はもちろんですが、一人ひとりの強みを引き出し、伸長させるために、探求型の学習活動や主体的な部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに取り組んでいきます。

いろいろな場面でお子様方の成長をお感じになっていただければ幸いです。

では最後にもう一度、1年生の皆さんにお話しします。

今年は2022年です。皆さんたちの中には、きっと22世紀を見る人がいること  
でしょう。そのころはどんな世界になっているのでしょうか。

そんな未来に向かって夢をはせ、「志」を立て、人間としての土台を作るべく、この  
学校でたくさんの経験を積み重ねてください。



入学おめでとう。今日から三年間一緒に頑張りましょう。

令和4年4月8日

佐賀県立唐津西高等学校

校長 下村 昌弘